

# 農業

令和4年3月号  
会誌 No. 1687



## 目次

### 巻頭言

豊かさとは何だろう……………手島 秀樹 3

### 論壇

小さな改善で大きく変わる農業経営……………佐川 友彦 4  
—梨園と右腕が取り組んだ500の業務改善—

### 食用タンパク質研究会

第2回食用タンパク質研究会……………佐本 将彦 6  
—大豆ミートおよび大豆利用における現状と課題（展望）—  
話題提供…………… 6  
質疑応答・討論…………… 15

### 表彰農家訪問

ウンシュウミカンの連年高単収・高品質果実生産……………長谷川美典 20  
—海南市下津町に橋詰孝氏を訪ねて—

### 食を楽しむ

日本のコーヒーは世界……………井谷 善恵 28

### 研究の最前線

北部九州における気象条件との関係に基づいた……………西尾 善太 29  
コムギの収量向上の方策

### 農業・農村の現場から

6次産業の商品開発と販路開拓……………青木 美紗 36  
—共感と信頼を高め合う西日本産直協議会を事例に—

## 世界の農業は今

タイの稲作とコメ輸出の現状と課題……………宮田 敏之 42

## 私の経営と志

農を日常に……………高橋 真樹 49  
—江刺りんご生産と、思い描く未来のカタチ—

## 東京農業大学収穫祭から（Ⅲ）

若い世代が考える大豆ミートの可能性  
……………国際バイオビジネス学科 経営戦略研究室 51

## 農業関係予算情報

予算から見る農林水産業……………編集部 55

## 飼料用米多収日本一

「令和3年度 飼料用米多収日本一」受賞者…………… 58

## 農政情報

…………… 59

編集部から …………… 59

大日本農会だより …………… 60

会誌「農業」に関するアンケート

### 表紙写真説明

### タラの芽「ぐんま春王 NT」の収穫作業（群馬県東吾妻町）

山菜の王様とも呼ばれるタラの芽、群馬県は山形県に次ぐ生産量全国2位のタラの芽産地です。タラの芽は、養蚕の衰退に伴い桑園が広がっていた中山間地域に、転換作物として導入されました。現在もコンニャク農家を中心に、農閑期に収入が得られる複合品目として栽培されています。

タラの芽栽培では、畑で長さ3mほどに生長したタラノキの穂木<sup>ほぎ</sup>を落葉後に収穫し、1節ごと（長さ10～15cm）に切断して駒木<sup>こまぎ</sup>に調製します。この駒木をビニールハウス内に設けたプールで水耕・保温して、萌芽した新芽（タラの芽）を収穫します。厳寒期に暖かいハウスで作業ができ、収穫物も小さく軽いことから高齢者でも取り組みやすい品目です。

主力品種はボリューム感のある新芽が特長で、栽培しやすい「ぐんま春王 NT」です。出荷は1月上旬から始まり、5月の大型連休頃まで続きます。

（写真及び文：群馬県農政部技術支援課 飯塚弘明）